

- 2 目次
- イベント情報
- 3 安芸高田市ゆかりの
スポーツチームを応援しよう！
今月のスマートフォン相談会
今月の市長コラム
- 4 お金・時間・気持ちにゆとりを
まちぐるみで
子育て全力サポート
- 6 行政情報
- 8 中学校の統合方針が決まりました
- 9 健康いいカラダ
はつらつ健康教室
- 10 防災で命を守る
大切なのは「知恵」と「準備」
- 12 げんきな親子
- 14 見守る、つながる、支え合う
民生委員の活動
- 15 未来をつくる学びのチカラ
国保だより
- 16 としょもっと！
- 18 HOTな話題
- 19 人輝く
- 20 お知らせ
国民年金のあれこれ
- 21 歴史紀行
- 22 およろこび・おくやみ
- 23 6月の相談
- 24 安芸高田のアイドル

人口		5月1日時点
人口総数	25,696	(-617)
世帯数	13,159	(-149)
男	12,486	(-261)
女	13,210	(-356)
※()内は前年同月比		

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎・お太助フォン 42-2111 (代)
八千代支所 ☎・お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎・お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎・お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎・お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎・お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 9:00～17:00

閉庁:土曜・日曜日、祝日、年末年始

安芸高田市組織一覧▶

イベント情報

6/1(日)

大土山田楽大花田植

広島県や中国山地に伝承され、豊作を祈願して初夏に行われる伝統行事の花田植。横一列に並ぶ早乙女が、太鼓や笛の音に合わせて苗を植える様子が見どころです。

所 小原多目的広場横(甲田町下小原)
時 13:00～(バザー出店/11:00～)
問 大土山田楽団事務局
☎090-6414-1889



6/22(日)

あきたかた市民セミナー「大道芸フェスティバル2025」

今年度も大人気の「おんぷらんと」と「大道芸人れもん」を迎え、子どもから大人まで楽しめる体感型パフォーマンスライブを開催します。

所 クリスタルアージュ(吉田町吉田)
時 13:30～14:30(受付/13:00～)
料 市内在住・在勤・在学の方 大人500円/
高校生以下300円(その他の方 大人1,000
円/高校生以下600円) 未就学児 無料
問 安芸高田市民文化センター
☎・お太助フォン 42-2411



初入選 全国広報コンクール

(公社)日本広報協会主催の全国広報コンクール「広報紙(市部部門)」で、広報あきたかた2024年1月号が初入選しました！

審査員講評概略



表紙の写真にインパクトがあり、目を止め、関心を起こし、ページを開かせるという効果をうまく生かしている。財政や課題などを市民に伝えようとする記事が分かりやすい。

問 秘書広報課 秘書広報係 ☎・お太助フォン 42-5627

安芸高田市公式ホームページ・SNS

安芸高田市
ホームページ



Facebook
(フェイスブック)



LINE
(ライン)



X
(エックス)



Instagram
(インスタグラム)



YouTube
(ユーチューブ)



安芸高田市ゆかりのスポーツチームを応援しよう！

6月の試合日程

	日にち	開始時間	対戦相手
ホーム試合会場：エディオンピースウイング広島			
サンフレッチェ広島	4日(水)	未定	未定(ルヴァンカップ)
	8日(日)	未定	未定(ルヴァンカップ)
	11日(水)	18:30	未定(天皇杯)
	14日(土)	18:00	アウェイ 鹿島アントラーズ PV
	22日(日)	18:00	アウェイ 横浜FC PV
	28日(土)	19:00	ホーム 名古屋グランパス PV
ホーム試合会場：サンフレパーク(安芸高田市サッカー公園)			
サンフレッチェ広島 ユース	21日(土)	16:00	アウェイ ヴィッセル神戸U-18
	29日(日)	11:00	アウェイ 大津高校

※5月1日(木)時点の日程です。

PV 道の駅「三矢の里あきたかた」でのパブリックビューイング [J1リーグ全38試合を放映]

予約
不要

無料

今月のスマートフォン相談会

スマートフォン無料相談会

ドコモ、ソフトバンクのスタッフが相談に応じます。

日時	場所	
6月21日(土)・22日(日)	10:00～17:00	ゆめタウン吉田(レジアウト付近)

問 政策企画課 企画調整係 ☎・お太助フォン 42-5612

今月の

市長コラム

いつか来るかもしれない災害時 一人一人ができること

こんにちは。市長の藤本悦志です。

私たちが暮らす自然豊かなこのまちが、洪水や土砂崩れなどの自然災害と隣り合わせであることを、どれだけの方々が日々心に留めて生活しているでしょうか。

本市に甚大な被害をもたらした令和3年8月豪雨からもうすぐ4年を迎えます。当時、市内には激しい雨が降り続き、吉田町の中心部を流れる多治比川が決壊。甲田町や美土里町では3時間降水量が観測史上1位を記録するなど、平成30年7月豪雨を超える記録的な大雨となりました。

これらの頻発化する災害に対し、改めて私たち一人一人が日頃からできることを考えていただきたいと思います。災害に強いまちづくりには、「平時

からの備え」と「相互に助け合える地域づくり」が重要です。平時からの備えとは非常時持出品の準備に留まらず、「身近に災害があることを知る」、「災害が起こったらどうなるのかをイメージすること」です。そして、自分の命や大切な人の命を守るにはどうしたらいいのかを皆で考え、話し合い、訓練を重ねていくことが大切です。

一方で災害から市民の皆さまの命と財産を守るのは、私たち行政の大切な使命です。防災のためのインフラ整備や避難所の環境改善、災害時の情報収集・伝達力の強化など災害に強いまちをつくっていきます。

これから出水期を迎えます。それぞれができる備えを意識して生活していきましょう。